

第6章

基本構想実現に向けた 行政運営

基本施策34	市民総参加・協働型の市政の推進	100
基本施策35	情報化社会に対応した市政の推進	102
基本施策36	健全な行財政の推進	104



基本施策34 市民総参加・協働型の市政の推進

現状と課題

人口減少と少子化・高齢化が急速に進み、市民ニーズが複雑化、多様化する一方で、地方の自主財源の確保が年々厳しさを増す中、従来のように行政が主体となつて、基本構想を実現していくことは困難になってきています。

現在、大野市では、多くの市民活動団体や地域団体、さらにはNPO法人*などが活動していますが、今後ますます、市と市民やこれらの団体、法人などとの連携による、市民総参加型・協働型の市政を推進する必要があります。

そのためには、市民力・地域力を高め、市と市民、市民活動団体や地域団体、さらにはNPO法人などが力を合わせることでできる環境を整えることが課題となっています。

また、市民総参加型・協働型の市政を推進するためには、その前提として、これまで以上に、市民に開かれた市政を実現することが求められます。

このため、市の情報を広く市民に提供するに当たっては、充実した内容で分かりやすい情報の発信に努めるとともに、市民が気軽に訪れ集いやすい市庁舎を整備することが課題となっています。

さらに、市では、情報公開制度やパブリックコメント制度*の活用、各種の計画策定における公募委員の参加などに取り組んできていますが、今後は、そのあり方や手法について検討し、市民の意見をより市政に反映できる体制を整える必要があります。

施策1 市民力・地域力の向上

市民力・地域力を高めるため、市民意識の高揚を図るとともに、市民、市民活動団体や地域団体、さらにはNPO法人などの活動が活発化し、行政と力を合わせることでできる環境を整えます。

主な事業

- 市民協働のためのシステムの構築
- 各種団体、NPO法人などとの協働事業の展開

施策2 広報の充実

市の情報を充実した内容で分かりやすく市民に提供するため、広報紙の内容を充実させるとともに、親しみやすい広報紙を目指します。

また、市ホームページの内容の充実と携帯電話用サイトの利用促進を図ります。

主な事業

- 広報紙の充実
- 市ホームページの充実

施策3 市民が利用しやすい市役所の実現

市民が利用しやすい市役所を実現するため、市民が気軽に集い、憩い、学ぶことのできる新庁舎の整備を行います。

また、市民の来庁目的に合わせたフロアマネージャー*を設置し、市民の視点に立った利便性が高く効率的なワンストップサービスを目指した窓口の体制を整備します。

主な事業

- 新しい市庁舎の建設
- 市民に親しまれる職員の育成
- 窓口ワンストップサービスの実現

施策4 情報公開制度などの充実

行政の透明性の確保や市民に開かれた行政を推進するため、個人情報の適正な保護に配慮しながら、情報公開制度の一層の充実を図ります。

また、行政としての説明責任を果たすとともに、市民の意見をより市政に反映できる制度とするため、パブリックコメント制度の一層の活用を図ります。

さらに、市民提案箱「やまびこ」の効果的な配置や「やまびこメール」の運用改善を行います。

主な事業

- 情報公開制度の充実
- 個人情報保護制度の適正な運用
- パブリックコメント制度の改善
- 広報広聴の改善

成果指標

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標
市ホームページアクセス件数	市ホームページにアクセスした延べ件数	320,000件 (19~21年度の平均)	370,000件
新しい市庁舎の建設	新庁舎の供用開始	構想策定	新庁舎供用開始
パブリックコメント案件1件当たりの意見数	パブリックコメント制度を実施した案件1件当たりの提出された意見の数	3件 (21年度)	10件



基本施策35 情報化社会に対応した市政の推進

現状と課題

市の各部局で保有している情報のうち市民に提供できるものについては、市ホームページへの掲載や市の行政資料室への配置などを行っています。

今後は、市民と共有し市民が活用できる情報については、個人情報保護や情報公開制度の適正な運用について配慮しながら、情報の共有化を推進する必要があります。

また、現在、さまざまな手法で越前おおのの魅力ある情報を大野市外や福井県外へ発信していますが、適時かつ確に情報を発信するためには、市ホームページや携帯電話の活用をさらに充実していく必要があります。

さらに、市役所内の各種情報システムの整備や行政情報のデータベース化、インターネットの利活用など、行政事務の電子化と総合的利用を図っているところですが、今後は、高度情報化の進展に合わせ、行政事務のネットワーク化や電子決裁の導入など、行政事務の電子化を進め、事務の効率化を図ることが求められています。

施策1 市民と行政の情報の共有化

市民と共有できる情報を集約し、市民が手軽に入手できるシステムを構築します。

主な事業

- 市民のインターネットの利活用の促進
- 市民の統合型GIS（地理情報システム）の利活用の促進

施策2 大野市外に向けた魅力ある情報の発信

越前おおのの魅力ある情報を大野市外、福井県外へ発信するため、市ホームページや携帯電話を活用した情報発信の充実を図ります。

主な事業

- 大野市外へ向けた市ホームページの充実
- 携帯電話などを活用した情報発信
- 市政広報放送の充実

施策3 高度情報化の充実

大野市地域情報化計画を見直すとともに、市役所内の各種情報システムの方向性を取りまとめます。

電子決裁を含むグループウェアシステム*などの導入や既存情報システムのネットワーク経由での利用を進め、事務の効率化を図ります。

また、統合型GISの導入により、地図に関する業務の重複を省くことで経費を削減するとともに、事務の効率化を図ります。

主な事業

- 市役所内の高度情報化の推進
- インターネットの利活用の推進
- 統合型GISの導入

成果指標

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標
施設予約システムでの利用可能施設数	「ふくe-ねっと」を利用して予約できる施設数	2施設	10施設
電子申請システムでの利用可能手続数	「ふくe-ねっと」を利用して申請できる手続数	24件	40件



市報「広報おおの」



市ホームページ



基本施策36 健全な行財政の推進

現状と課題

少子化・高齢化の進展に伴う人口減少や超高齢化社会の到来、情報通信技術の飛躍的な発展や地球環境問題の顕在化に加え、100年に一度といわれている不況やそれに伴う雇用情勢の悪化など、社会経済環境は急激に変化しています。

このような中、地方自治体には、地域主権の推進、市民ニーズのさらなる多様化などの急激な環境の変化に迅速に対応することができる、効率性や柔軟性の高い組織への転換や、自主性、自立性の強化が必要となっています。

近年の行政に対するニーズの拡大と多様化、職員数の削減などにより職員個々の業務量が増加してきており、これまで以上に職員力を高め、「やる気」に満ちた職場風土を醸成し、組織力を強化していく必要があります。

また、財政運営については、地方交付税や国県支出金などの依存財源比率が高く自主財源の確保が難しい状況にあるため、適正な市税の賦課に努めるとともにより一層徴収の強化を図ることが急務です。

さらに、各事業会計への一般会計からの繰り出しが増大すると、市の財政を圧迫することが危惧されるため、これらの会計の健全運営が求められています。

施策1 継続的な行政改革の推進

第六次大野市行政改革大綱^{*}に即した施策の展開と効率的な行財政運営を推進できる体制の構築を基本理念に、行政改革を推進します。

また、事務事業評価システム^{*}を効果的に運用し、積極的に事業の廃止・縮小・統合もしくは拡充を行うとともに、限られた財源の有効配分や重点配分に努めます。

主な事業

- 第六次大野市行政改革大綱に基づく行政改革の推進
- 事務事業評価システムの適正な運用と改善

施策2 職員力・組織力の強化

組織全体の能力と活力を向上させるため、大野市人材育成基本方針^{*}に基づき、職員の意識改革や職員個々の能力開発による人材育成に努め、職員力・組織力の強化を図ります。

このため、自己啓発の促進や職場内研修の充実により、市民に信頼される職員、チャレンジ精神を持って政策の立案や実行ができる職員の育成に努めます。

また、目標管理による組織運営を行い、職員の意欲の向上を図るため、勤務評定制度の適正な運用に努めます。

さらに、大野市定員適正化計画^{*}に基づき、引き続き定員の適正化を図るとともに、組織として最大限の機能が発揮できる職員の適正配置に努めます。

主な事業

- 職員研修の充実
- 勤務評定制度の適正な運用
- 定員管理の適正化と職員の適正配置

施策3 健全で柔軟な財政運営

適正な課税による市税の収納強化を図るとともに、新たな税源確保のため、地域産業の振興や企業誘致に取り組みます。

また、弾力的な財政運営を図るため、義務的経費や経常的経費の節減に努める一方、大規模な財産の取得などに当たっては土地開発公社を活用するとともに、不要な財産については順次、整理を進めます。

さらに、事業会計が市の財政を圧迫することがないように、各事業会計の健全な運営を図ります。

主な事業

- 土地・家屋現況図電子化による適正な課税客体の把握
- 不要財産の積極的な処分
- 上水道、下水道会計など事業会計の健全運営



大野市役所



職員研修会

マスコットキャラクター紹介



【うぐピー】



【うめピー】

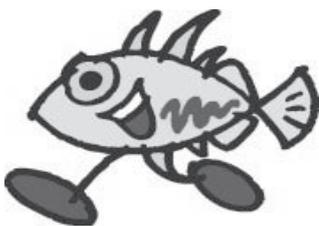


【かめじろう】

大野市のマスコットキャラクター

■ 名前の由来

うぐピー・うめピーは大野市の鳥“うぐいす”が“ハッピー（幸せ）”を運ぶ。かめじろうは“亀山のお城”。



【イトヨのシンちゃん】

大野市の魚イトヨから生まれたマスコットキャラクター。
社団法人大野青年会議所が全国から公募しました。

■ 名前の由来

イトヨの大野の方言名“はりしん”。



【丁稚くん・真名姫ちゃん】

平成大野屋事業のマスコットキャラクター。

■ 名前の由来

大野屋で働く男の子とその幼なじみの女の子という設定から。



【運動週一くん】

総合型地域スポーツクラブ「みんスポクラブ」のマスコットキャラクター。

■ 名前の由来

これから週に一日運動を続けていこう。